

院長交代のご挨拶



【前院長のご挨拶】

日頃より、医療法人社団永慈会 永田クリニックをご利用いただきありがとうございます。

この度、令和4年3月末日をもって永田クリニック院長を退任し、新院長として永田健先生に職を引き継ぐことといたしましたので、この場をお借りしてご挨拶させていただきます。

私は昭和59年に向洋駅前で永田内科医院を開業致しました。当初ベッド数19床を備えた有床診療所として外来および入院診療を行い、平成13年からは地域の皆様の健康増進に貢献すべくデイサービス事業を立ち上げました。

そして、平成14年には居宅介護支援事業所を開設しました。さらに、平成19年には現在地である古江東町に永田クリニックを開業し、同時に居宅介護支援事業所と通所介護支援事業所を新設し、現在の医療法人社団 永慈会 永田クリニックのかたちとなりました。

開業以来37年間、私たちが目指してきたのは、地域の皆様の健康と生活に寄与することで、最後まで安心して住み続けられる地域になるよう貢献することです。

その理念のもと、永田クリニック、永田内科医院の両院で内科診療、往診等の在宅医療、居宅介護支援、デイサービス事業を提供しています。

永田内科医院開業当初、医師は私1人だけでしたが、平成19年の永田クリニック開業を機に常勤医師2名での診療となりました。そして今回、新院長と理念を共有し、これからの時代に即した体制を構築していくことと致しました。今後、私は新院長のサポートを行いながら、これまで通りクリニックでの診療を続けて参ります。

開業以来、自然災害や震災、新型コロナウイルス感染症など様々な困難を経験することもありましたが、これまで何とか続けて来られたのは、利用していただいた地域の皆様や連携していただいている方々のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも医療法人社団永慈会永田クリニック、永田内科医院をよろしくお願い致します。

【新院長のご挨拶】

令和4年4月1日より永田クリニックの院長を拝命いたしました、永田健(ながた たけし)です。

前院長の理念のもと、地域のみなさまの健康と生活を守り、かかりつけ医として存在していく重責に身の引き締まる思いであります。



私は、平成19年東京慈恵会医科大学を卒業後、どのような症状に対しても適切に診断し治療を行うことのできる医師になりたいと考え、あらゆる急患の診療を行う救急科で幅広い内科疾患、外傷、画像診断などの専門的な診療をして参りました。

その中で、一見軽症に見えて重篤な病気であったり、典型的な症状がほとんどないような診断が難しい患者さんの診療を通じて、救急の現場でしか学ぶことのできない経験を積んできました。聖路加国際病院での救急科診療を経て、平成25年から10年間、広島市民病院の救急科、総合診療科、糖尿病内科で勤務し専門性の高い内科疾患の診療に尽力して参りました。

このような臨床経験から、どの診療科でみてもらったらよいのか悩んでいる患者さんの診療や、病気を発症する前段階での予防医療、生活習慣病などの幅広い内科診療をより患者さんに近い立場で行う必要性を強く感じるようになりました。

これからの地域医療では、患者さんの基礎疾患や栄養状態、身体機能、認知機能などを把握した総合的な診療が必要だと考えます。

共に働くスタッフは知識、経験が豊富であり、力強いチームワークを発揮しております。このようなスタッフと共に、より一層みなさまに信頼される医療機関として地域に貢献していきたいと思っています。

これまでの経験を活かし、前院長が大切にしてきた理念を引き継ぎ、病気を治療するだけでなく患者さんひとり一人に合った医療を行えるよう、これからも努力していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

【経歴】

2007年3月 東京慈恵会医科大学医学部卒業
2007年4月 東京慈恵会医科大学柏附属病院 初期研修医
2009年4月 広島市立広島市民病院 後期研修医
2011年4月 聖路加国際病院 救急部 専門研修
2013年4月 広島市立広島市民病院 救急科
2016年4月 広島市立広島市民病院 総合診療科 兼)救急科
2017年4月 広島市立広島市民病院 総合診療科 兼)救急科 副部長

【資格】

総合内科専門医
日本糖尿病学会専門医
救急科専門医